

2017年2月21日
日興アセットマネジメント株式会社

「米国バンクローンファンド(為替ヘッジあり) 2014-03」 ～今期の決算について～

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「米国バンクローンファンド(為替ヘッジあり) 2014-03」は、2017年2月15日に決算を行ないました。

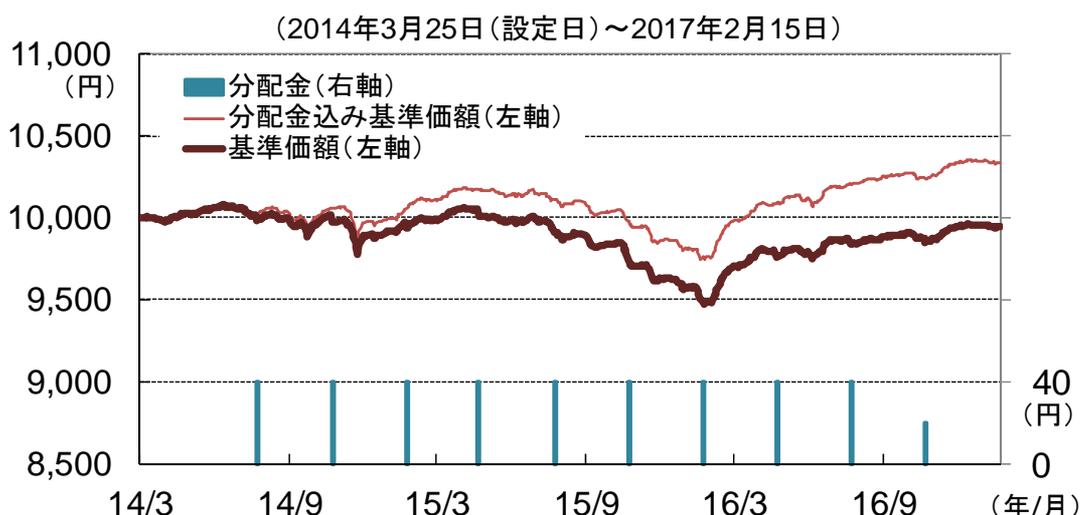
ここに、当期の分配金について、ご報告いたします。

分配金(税引前、1万口当たり)	0円
基準価額(税引前分配金控除後、1万口当たり) 2017年2月15日現在	9,944円

次頁では、設定来の運用状況や足元の市況動向についてご報告いたします。
なお、当ファンドは2017年4月17日をもちまして、信託期間が終了となります。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

基準価額と分配金の推移



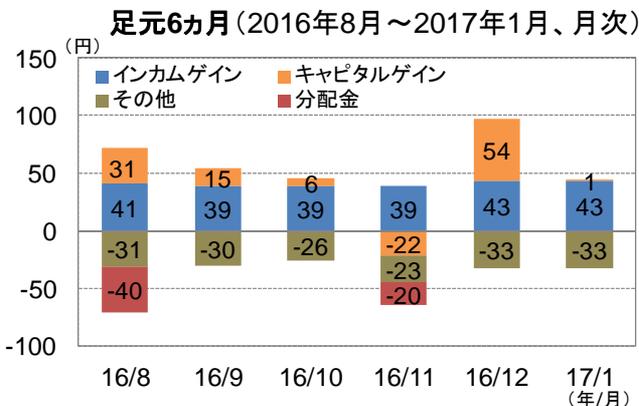
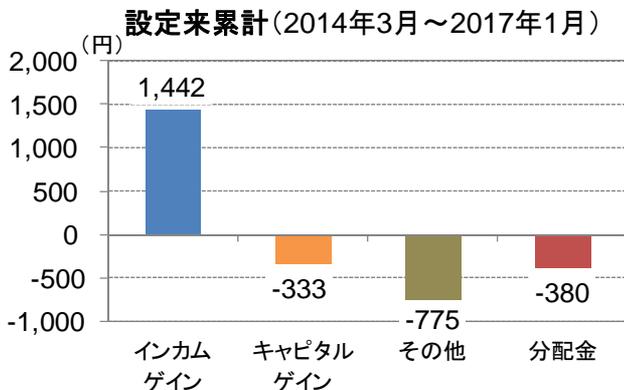
※基準価額は信託報酬(年率1.70802%(税抜1.5815%)程度)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
※分配金込み基準価額とは、当ファンドに分配実績があった場合に当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが「米国バンクローンファンド(為替ヘッジあり) 2014-03」の運用状況についてお伝えすることなどを目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

基準価額騰落の主な要因



※基準価額は信託報酬(年率1.70802%(税抜1.5815%)程度)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。
 ※要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

【最近の市況動向と当ファンドの運用状況】

バンクローン市場は、2016年11月以降、引き続き原油価格が堅調に推移したことに加え、好調な米国経済指標などを背景に、上昇しました。その後、2017年1月には、トランプ新大統領が国内製造業に対する規制緩和やパイプライン建設の推進などといった大統領令に署名したことを受け、投資家のリスク選好姿勢が強まり、バンクローン市場は引き続き堅調に推移しました。

米国債利回りは、大統領選挙においてトランプ氏が次期大統領に選出され、景気拡大期待が強まったことに加え、2016年12月に米政策金利が1年ぶりに引き上げられたことなどを背景に上昇したものの、変動金利であり、金利変動の影響を受け難いバンクローン市場への影響は限定的でした。

このような状況の中、当ファンドの基準価額は、概ね堅調な推移となりました。

上記は、当ファンドの投資顧問会社であるピムコジャパンリミテッドからのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

※グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

【リスク情報】

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に優先担保付バンクローン(貸付債権)および債券を実質的な投資対象としますので、優先担保付バンクローン(貸付債権)および債券の価格の下落や、優先担保付バンクローン(貸付債権)の債務者、優先担保付バンクローン(貸付債権)および債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

実質的に投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【期限前償還リスク】
【期限前償還に伴う再投資リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	ピムコジャパンリミテッド
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については、下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] http://www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

※購入の申込期間は終了しております。

お申込メモ

※購入の申込期間は終了しております。

信託期間	2017年4月17日まで(2014年3月25日設定)
決算日	年4回(2月、5月、8月、11月の各15日(休業日の場合は翌営業日))
ご換金単位	1口以上1口単位
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜ご換金時にご負担いただく費用＞

換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金時の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬	純資産総額に対して年率1.70802%(税抜1.5815%)程度を乗じて得た額 ※信託報酬の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.7064%(税抜1.58%)、実質的に投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.00162%(税抜0.0015%)程度となります。実質的に投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率(年率)は、「PIMCO バミューダ・バンク・ローン・ファンドA-J (JPY)」を99%、「日本短期債券マスターファンド(適格機関投資家向け)」を1%組入れると想定した場合の概算値です。
------	--

その他費用 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。

※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。